

1800年の時を超えて、愛と勇気の伝説が、今、よみがえる。

信じる心、



残っているか。

監督 ジョン・ウー 『M:I-2』

RED CLIFF

レッドクリフ

日本の映画ファンの皆さん、こんにちは、
ジョン・ウーです。

『レッドクリフ』のテーマは「勇気」「友情」そして「愛」です。

「勇気」があればどんな困難にも立ち向かえ、
さらに「友情」が加われば不可能なことも可能になると思います。
たとえどんな状況になっても友人を決して裏切らないこと。
そうすれば、さらに強くなれることを伝えたいと思います。

そして、『レッドクリフ』の主人公たちは、男も女も愛する人のために自分を犠牲にします。

1人の相手愛せる人は、すべての人に愛を与えることが出来る。

だから、その愛する人たちを守るために、戦うのです。

私は、『レッドクリフ』で、言葉で語るものではなく、行動で示す尊い愛を描きます。

自分を偽らず、人を疑わず、信じぬくことが、
人生を楽しくすることを、皆さんに感じてもらいたいと思います。

どうぞご期待ください。


ジョン・ウー

2008年 10月 公開

『M:I-2』×『パイレーツ・オブ・カリビアン』のチームが贈る、 アクション・アドベンチャー超大作。 1800年の時を超えて、愛と勇気の伝説が、今、よみがえる。

独特なアクション表現でハリウッドにも大きな影響を与えた、『M:I-2』『フェイス／オフ』の名匠ジョン・ウー。
今回、監督が挑戦するのは日本でも7000万部以上の発行部数を誇り、世界で最も愛されている英雄伝「三国志」の映画化である。
国を賭けて戦う男の世界を、その時代に生きた女性の存在もリアルに表現するオリジナル脚本により、
愛と勇気の物語として完全映画化を成し遂げた。

歴史劇、時代劇というジャンルさえも超越した作品『レッドクリフ』を通じて、
現代に伝えるメッセージを、全世界に送り出す。
100億円という破格の製作費を投入し、今までのアジア映画の概念を覆す圧倒的なスピード感と鮮烈な映像表現で、
老若男女を問わず楽しめるエンタテインメント作品に仕上げている。

「社会の変化に精神が追いつかない全世界の現代の若者たちに、この作品を通じて生きることの喜び、友達のすばらしさを伝えたい」と話すジョン・ウー。
奇しくも監督の故郷、中国では「One world, one dream」というテーマでオリンピックを開催。
早くも世界中が注目するプロジェクトとなっている。
エンタテインメントの原点にして最高傑作、知恵・勇気・友情に燃える男たち、そして凛々しく生きる女たちの物語。
『レッドクリフ』が、今、その全容を明らかにしようとしている。



トニー・レオン

金城武

リン・チーリン

紅

RED CLIFF

www.redcliff.jp



提供：エイベックス・エンタテインメント／東宝東和／テレビ朝日／Yahoo! JAPAN

配給：東宝東和／エイベックス・エンタテインメント

宣伝：KICCORIT / P2

エイベックス・グループ創立20周年記念

テレビ朝日開局50周年記念

東宝東和創立80周年記念